

## 「第11回定時総会および第47回理事会」開催される

～新会長に(株)IHI代表取締役会長 満岡次郎氏を選任～

(一社)日本航空宇宙工業会は、5月31日(火)ANAインターコンチネンタルホテル東京において、第11回定時総会および第47回理事会を開催した。

同日のスケジュールは以下の通り。

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 15時50分～16時20分 | 会長記者会見(一般紙/専門紙) |
| 16時30分～17時00分 | 第11回定時総会        |
| 17時20分～17時30分 | 第47回理事会         |
| 18時00分～19時00分 | 交流会             |

### 1. 第11回定時総会

第11回定時総会には正会員85社中の48社の出席を得た。(他、委任状37社)

総会は、村山会長の所見(次葉)後、同会長により議事進行がとり進められ、全議案が滞りなく承認可決された。

第11回定時総会の議事内容は次のとおり。(議事要旨は「お知らせ」参照)

- 第1号議案 令和3年度決算の承認について
- 第2号議案 令和4年度会費の承認について
- 第3号議案 任期満了に伴う理事の選任について
- 第4号議案 任期満了に伴う監事の選任について

最後に村山会長より退任の挨拶があり、拍手をもって閉会となった。



村山 滋 会長  
川崎重工業(株)特別顧問



定時総会会場

## 村山会長所見（第11回定時総会）

### 所見1：はじめに

2020年以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、航空宇宙産業に大きなインパクトを与えました。航空旅客需要の大幅減に伴い、特に民間航空機事業は深刻な低迷が続いています。2021年度の我が国航空機生産額（速報値）は1兆1,554億円（民間6,579、防衛4,975）であり、ピークだった2019年度の1兆8,689億円（民間1兆3,597、防衛5,092）、2020年度の1兆2,634億円から更に落込み、宇宙機器3千億円強を合わせても2年連続で2兆円に届かない状況となっています。国際航空運送協会（IATA）による国際航空旅客の需要回復は2024年になるとの予測ですが、需要低迷が長期化することも危惧されており、注視する必要があります。

### 所見2：民間航空機分野

- (1) 民間航空機分野は、これまで国際共同開発事業が我が国の航空機産業の成長を牽引してきましたが、新型コロナウイルスの影響によるボーイング787/777生産レートの減少、そして新型機である777Xの開発スケジュールが後ろ倒しされるなど、先行きが不透明な状況にあります。
- (2) 航空エンジン分野も、搭載する機体の減産により厳しい状況にありますが、新型コロナウイルスが早期に収束し、航空機とともに、PW1100G-JM、Trent1000、GEExなどのエンジン、及び装備品等の分野が発展することを期待いたします。

### 所見3：防衛分野

- (1) 防衛分野では、防衛計画の大綱と、2019~2023年度までの中期防衛力整備計画に示された国の政策にそって、引き続き産業界としての役割を担うべく努めてまいります。
- (2) 次期戦闘機（F-2後継機）は、エンジニアリングチームFXET（エフゼット：F-X Engineering Team）により開発が進められており、今年度（2022年度）予算には関連研究を含め1,001億円が計上されております。
- (3) 戦闘機以外の分野では、陸自UH-2、海自P-1、空自C-2など、陸海空での量産事業が順調に進んでいます。これらの事業が、防衛産業の基盤維持に資することを期待いたします。

- (4) 今年4月、防衛産業との連携を一層強化すべく、防衛装備庁装備政策課に「防衛産業政策室」が新設されました。防衛生産・技術基盤の維持・強化に向けた重点的な取組みに期待いたします。

#### 所見4：宇宙分野

- (1) 宇宙分野では、今年度の宇宙関連予算が5,000億円の大台にのり、宇宙基本計画に掲げられた「宇宙機器産業の事業規模として官民合わせて10年間で累計5兆円」の目標に達しました。また、宇宙基本計画の工程表の改定も例年通り12月に行われました。我が国の宇宙事業が計画に沿って進展することを期待いたします。
- (2) ロケット打上げ事業では、昨年（2021年）10月にH-IIAロケット 44号機、12月に45号機の打上げに成功しています。また、11月にはイプシロンロケット5号機の打上げにも成功しています。今後も、高い信頼性をもって、我が国の商業用衛星打上げ・輸送サービスが国際市場において受注拡大していくことを期待いたします。
- 一方、新型基幹ロケットH3は、開発中のLE-9エンジンで確認されていた技術課題について、概ね解決の見通しが得られたと聞いております。
- (3) 衛星事業では、海外市場の開拓として、既にトルコ、カタールから通信衛星を受注し、打上げ及び引渡しに成功しております。また国内では、日本版GPSを構築するため、準天頂衛星を現在の4機体制から7機体制にする構想や、「技術試験衛星9号機」などの開発が宇宙基本計画にそって進められ、衛星事業の一層の発展を期待いたします。

#### 所見5：国際交流

新型コロナの影響により、昨年6月に予定されていたパリエアショー、秋に計画していた「2021年国際航空宇宙展」(JA2021)など主要な行事が中止となり、世界中の航空宇宙関係者が一堂に会するビジネスの場が少なくなりましたが、3年ぶりの海外エアショーへの参加として今年7月に開催されるファンボローエアショーに会員企業とともに出展する計画です。そして、2024年の秋に「2024年国際航空宇宙展 (JA2024)」を東京で開催する予定です。JA2024が航空宇宙産業のリカバリーの場として貢献できるよう、万全の準備を進めてまいります。今後とも国際航空宇宙展へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## 2. 第47回理事会

総会後に開催された理事会において、任期満了に伴う新たな会長・副会長ならびに専務理事・常務理事を選任した。(理事14名中、出席13名)

新会長には、(株)IHI 代表取締役会長 満岡次郎氏が選任された。

新副会長には、(株)SUBARU 常務執行役員 航空宇宙カンパニープレジデント 戸塚正一郎氏、住友精密工業(株) 代表取締役 社長執行役員 高橋秀彰氏および日本電気株式会社 執行役員常務 山品正勝氏の3氏が選任された。

また専務理事として藤野琢巳、常務理事として山岡建夫と佐藤幸喜が選任された。

第47回理事会の議題は、次のとおり。(議事要旨は「お知らせ」参照)

- 議案1 任期満了に伴う会長の選任について
- 議案2 任期満了に伴う副会長の選任について
- 議案3 任期満了に伴う専務理事・常務理事の選任について

当工業会の会長・副会長ならびに理事・監事は次の通り。

### (1) 会長・副会長



会長 満岡 次郎  
(株)IHI 代表取締役会長



副会長 戸塚 正一郎  
(株)SUBARU  
常務執行役員  
航空宇宙カンパニープレジデント



副会長 高橋 秀彰  
住友精密工業(株)  
代表取締役 社長執行役員



副会長 山品 正勝  
日本電気(株)  
執行役員常務

## (2) 理事・監事（会長・副会長を除く）

| 当会役員名          | 氏名    | 会社名                | 役職  |
|----------------|-------|--------------------|---|
| 理事（非常勤）        | 阿部 直彦 | 三菱重工業株式会社          | 常務執行役員<br>防衛・宇宙セグメント長<br>兼 民間機セグメント長                  |
| 〃（〃）           | 佐藤 光政 | 川崎重工業株式会社          | 常務執行役員<br>航空宇宙システムカンパニー<br>バイスプレジデント<br>兼 航空宇宙ディビジョン長 |
| 〃（〃）           | 高木 憲優 | ナブテスコ株式会社          | 執行役員<br>航空宇宙カンパニー 社長                                  |
| 〃（〃）           | 山本 晋  | 株式会社島津製作所          | 執行役員<br>航空機器事業部長                                      |
| 〃（〃）           | 原 芳久  | 三菱電機株式会社           | 常務執行役員<br>電子システム事業本部長                                 |
| 〃（〃）           | 吉永 稔  | 東レ株式会社             | 取締役 専務執行役員<br>複合材料事業本部本部長                             |
| 〃（〃）           | 並木 文春 | 株式会社<br>IHIエアロスペース | 代表取締役社長   |
| 理事（常勤）<br>専務理事 | 藤野 琢巳 | 元・通商政策局通商交渉官       |   |
| 理事（常勤）<br>常務理事 | 山岡 建夫 | 元・防衛装備庁電子装備研究所長    |   |
|                | 佐藤 幸喜 | 元・航空自衛隊 補給本部 副本部長  |   |
| 監事             | 飛永 佳成 | 日本飛行機株式会社          | 代表取締役社長   |
| 〃              | 三井 一郎 | 民間航空機株式会社          | 常務取締役   |

### 3. 定例会長記者会見

(一社) 日本航空宇宙工業会は第11回定時総会に先立ち、一般紙・専門紙への定例記者会見を開催した。村山会長、満岡新会長の挨拶の後、質疑が行われた。

[時間：15：50～16：20、於「ギャラクシーⅢ」]

#### (1) 出席者

新聞社・報道機関：日本経済新聞社、ウイング、軍事研究、航空情報、航空ファン、航空ニュース、航空関係ジャーナリスト（6社+ジャーナリスト、8名）

当工業会出席者：村山会長、満岡新会長

[事務局] 藤野専務理事、高辻常務理事、山岡常務理事、他関係者

#### (2) 配布資料

第11回定時総会村山会長所見、令和3年度航空機生産額（速報値）、令和3年度宇宙機器産業の売上高見込み



村山会長



満岡新会長



記者会見会場

#### 4. 交流会

(一社)日本航空宇宙工業会は、第11回定時総会終了後、交流会を開催した。当日は、会員企業の幅広い方面から約160名の方々にご参集をいただいた。

交流会は冒頭、村山前会長の退任挨拶および満岡新会長の就任挨拶に引き続き、その後、戸塚新副会長による乾杯の音頭によって、和やかに懇談に入った。



村山前会長、満岡新会長

### 村山前会長 退任挨拶

一般社団法人日本航空宇宙工業会前会長の村山でございます。

本日は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、規模を縮小しておりますが、会員企業の交流会として、2年ぶりに定時総会後の懇親会を開催することと致しました。

ご多用中、会員の皆様多数のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私は一昨年5月に当会の会長に就任し、本日の総会をもちまして任期を終えました。任期中、皆様方からのご支援への感謝を含めまして、一言ご挨拶を申し上げます。

在任期間が新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と完全に被り、なかなか思うような会の事業が出来なかったことなど、心残りの部分もございますが、振り返りますと、2021年度の我が国航空機生産額は1.2兆円であり、ピークだった2019年度の1.9兆円、2020年度の1.3兆円から更に落込み、宇宙機器3千億円を合わせても2年連続で2兆円に届かない状況となっており、厳しい2年間でありました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国の航空宇宙産業の成長を牽引してきた民間航空機事業に多大なる影響を及ぼしました。

航空旅客需要の大幅減に伴うボーイング787/777生産レートの減少、新型機である777Xの開発スケジュールの後ろ倒し等により、大手企業のみならず、業界を支えて頂いている中小サプライヤーの経営環境は今なお深刻な状況にあります。

航空旅客需要の回復にはさらに長期間を要すると見込まれていますが、それまで産業基盤を維持することが不可欠ですので、当会としては、雇用調整助成金の特例措置の延長や、公的金融機関による特別貸付の延長などを求めて、所管官庁へ業界の窮状をご説明すると共に、私自身、昨年12月末に総理主催で行われた会議でもお話しさせていただきました。

民間航空機事業がこの様な状況下、防衛事業が命綱であり、防衛生産・技術基盤の強化に向けた防衛産業政策の在り方について、関係団体とも連携して防衛省や政府与党と意見交換をさせて頂いております。

政府におかれましては、年末に見直しが予定されている国家安全保障戦略、防衛計画大綱、中期防衛力整備計画に具体的な方針を明記し、より踏み込んだ取り組みをすべく、現在、防衛大臣、防衛装備庁長官と、当会会員企業との意見交換会も始まっております。

年末にはこの戦略3文書に実効性の高い防衛産業政策が盛り込まれるとともに、官民間で建設的な意見交換を行なった上で政策決定していただく、こうした取組みが今後も継続されることを期待しております。

宇宙分野では、今年度の宇宙関連予算が5千億円の大台にのり、宇宙基本計画に掲げられた「宇宙機器産業の事業規模として官民合わせて10年間で累計5兆円」の目標に達しました。

我が国の宇宙事業が宇宙基本計画に沿って進展することを期待いたします。

最後になりますが、航空宇宙産業は、成長産業としての期待がある一方、課題も山積している状況です。後任の会長は、IHIの満岡さんに、お引き受け頂くことになりました。

満岡さんは皆様ご承知のとおり航空宇宙産業界の代表として誠に適任の方であります。

新会長のリーダーシップのもと、会員企業の皆様のご協力を得て、コロナ禍の難局を乗り越え、我が国の航空宇宙産業ならびに当会が、ますます発展することを祈念いたしまして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。



## 満岡新会長 就任挨拶

先ほど開催されました理事会におきまして、一般社団法人日本航空宇宙工業会会長に選任された満岡でございます。

今季70周年を迎えた伝統ある工業会の会長職は重責ではありますが、皆様のご支援を得ながら、任務を果たして参りたいと思っております。よろしくごお願い申し上げます。

ただ今、村山前会長からご挨拶がございましたが、前会長におかれましては、これまで業界の発展に多大なる貢献をされて来られたことに、深く敬意を表する次第であります。

さて、航空宇宙産業の主要分野ごとに事業環境を見てまいりたいと思います。

まず、民間事業です。歴史を振り返りますと、湾岸戦争、米国同時多発テロ、リーマンショック、そして今回の新型コロナと、事業がよどむ時期をほぼ十年おきに経験してまいりました。現在、ワイドボディ機の戻りが遅れており、まだまだ大変厳しい事業環境ではございますが、これまでの歴史が示してくれているように、マクロの視点では長期にわたって「右肩上がりの成長」が期待される事業分野です。

次は、防衛事業です。先に開催されたQUAD首脳会議でも議論されました。世界、インド太平洋地域の平和・安定に果たすべき我が国の役割は益々高まっており、岸田首相が「防衛力の抜本的強化」を強調されました。ウクライナ危機の中で、防衛に対する「国民の理解」も深まっております。我々工業会への期待が益々高まっているものと理解しております。

宇宙分野ですが、政府の「宇宙産業ビジョン2030」において、「宇宙利用産業を含めた宇宙産業の市場規模の2030年代早期の倍増」を目指すこと示されました。安全保障の視点、災害対策・国土強靱化の視点、環境の視点など、様々な面で新たな価値創造につながる分野と期待されております。

我が国の航空宇宙産業は、これまでも様々なイノベーションに挑戦しながら、先端技術産業として技術立国である我が国の技術をリードしてきました。

今日、エネルギー・資機材等の価格変動幅も極めて大きく、サプライチェーンも大きな影響を受ける不透明な事業環境の真ただ中ではありますが、これからも、安全保障、サステイナブルな成長に直結する重要な産業と期待されております。

益々高まる業界への期待にお答えするため、経済産業省、防衛省、文部科学省をはじめとする関係当局との連携をより一層強化しながら、皆様方とともに、テクノロジー・

イノベーション、ビジネス・イノベーションに挑戦してまいりたいと思います。

最後に、3年ぶりに今年7月に開催されるファンボローエアショーに会員企業と共に出展するため、現在準備を進めております。また、2024年の秋には「2024年国際航空宇宙展（JA2024）」を東京で開催する予定です。JA2024が航空宇宙産業のリカバリーの間として貢献できるよう、万全の準備を進めてまいりますので、今後とも国際航空宇宙展へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

皆様方におかれましては、一層のご指導、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。